



RESASを使用した場合の 需給ギャップマップの作成方法

令和8年6月

令和8年度生活維持役務等効率化促進事業費補助金事務局

目次

1. 需給ギャップ要件におけるRESASの活用について
2. 需給ギャップマップの作成方法
3. 需給ギャップマップの添付方法
4. 「2. 需給ギャップマップの作成方法」では資料の作成が困難な業種について
5. お問い合わせ先

1. 需給ギャップ要件におけるRESASの使用について

- 令和8年度生活維持役務等効率化促進事業費補助金（以降、本補助金）では、補助対象事業の要件として、地域でエッセンシャルサービス供給が不足している、または不足するおそれがあることを示す需給ギャップ要件を付しております。
- 需給ギャップ要件の詳細は業種ごとに定めておりますが、その詳細に関わらず、全ての申請者において、申請者のサービス供給拠点の周辺地域における人口分布等の情報と、同じサービスを提供する他拠点の立地状況を明らかにしていただく必要があります。
- 人口分布と他拠点の立地状況を申請する際には、地域経済分析システム（RESAS）を活用し、需給ギャップマップを作成することを推奨いたします。
- 本資料においては、需給ギャップマップの作り方について解説いたします。

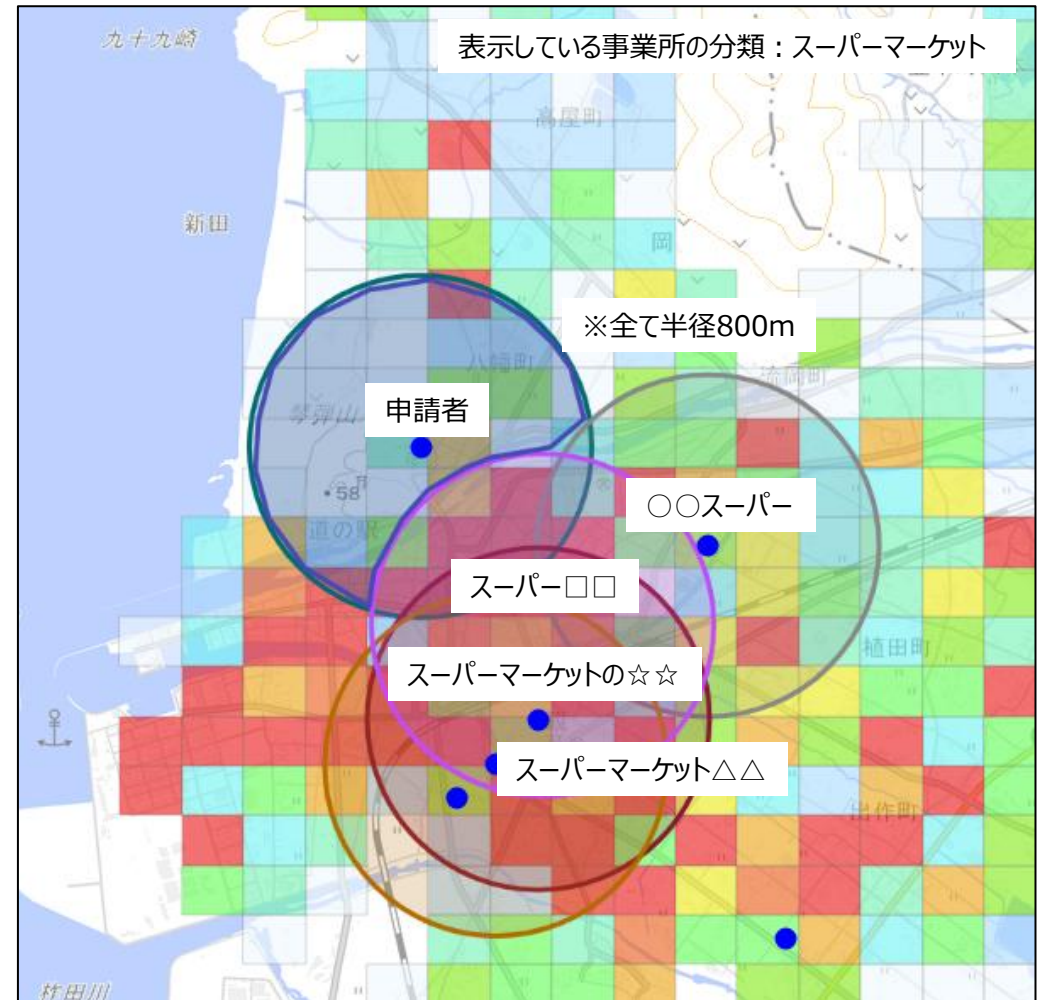
2. 需給ギャップマップの作成方法（概要）

- RESAS「将来人口メッシュ分析」では、**日本全国を1辺250mのメッシュで分割した地域の将来人口分布**（※1）を地図上で確認することができます（右図の赤や青、黄色で塗り分けられたメッシュ）。
- さらに**地図上に同心円や長方形、その他多角形を描画**でき、描画した図形に全部または一部含まれた**メッシュの人口総数**等を確認することができます。
- **電話帳データに登録されている事業者の立地情報**を同じ地図に表示し（右図の青点（※2））、公募要領に従って各拠点のアクセス可能地区等を設定することで、**地域のエッセンシャルサービスの需給ギャップ**について示す**際の参考とすることができます**。

- ※1 国土交通省「250mメッシュ別将来推計人口データ」
- ※2 日本ソフト販売株式会社「電話帳データ」、
（電話帳データに登録されていない事業所は表示されない）

需給ギャップマップ完成イメージ（例）

※スーパーマーケットの場合



2. 需給ギャップマップの作成方法（フロー）

Step1 : RESAS「将来人口メッシュ分析」を開く

Step2 : 「将来人口メッシュ分析」の詳細を設定する

Step3 : 業種を選択する

Step4 : アクセス可能地区を描画する

Step5 : エssenシャルサービス供給地区を描画する

The screenshot displays the RESAS software interface. The top navigation bar includes '将来人口メッシュ分析', 'メッシュマップ', '選択地域のグラフ', and '選択地域の事業所一覧'. The left sidebar lists various map types: マーケティングマップ, 観光マップ, 人口マップ, 産業構造マップ, 地域経済循環マップ, 農林業漁業マップ, and 医療・介護マップ. The central search and filter panel is divided into three sections: '表示する地域を指定する' (Region selection), '将来人口メッシュの条件を指定する' (Future population mesh conditions), and '事業所の条件を指定する' (Business conditions). The '将来人口メッシュの条件を指定する' section is highlighted with a red box and labeled 'Step2', showing options for '表示内容' (Total, Increase, Decrease), '表示年' (2025), '性別' (All, Male, Female), and '年代' (All, Specify). The '事業所の条件を指定する' section is also highlighted with a red box and labeled 'Step3', showing a '分類一覧' (Category list) and '事業所を表示する' (Show business locations) option. The main map area shows a grid of colored cells representing population density. A red box labeled 'Step4' highlights a specific area on the map, and another red box labeled 'Step5' highlights a circular area representing an essential service supply zone. A legend at the bottom right provides additional context for the map data.

2. 需給ギャップマップの作成方法

Step.1 RESAS「将来人口メッシュ分析」を開く

ブラウザでRESASのトップページを開きます。

- RESASトップページ：<https://resas.go.jp/>
- またはブラウザで「RESAS」と検索すると下記のような結果が表示されます。 ※偽サイト等には十分注意してください。



「将来人口メッシュ分析」を開きます。

- RESASトップページ上中央のマークのうち、ピンク色の「マーケティング」を選択します。
- ポップアップが表示されるので、「将来人口メッシュ分析」を選択します。



2. 需給ギャップマップの作成方法

Step.2 「将来人口メッシュ分析」の詳細を設定する

- 画面左部「表示する地域を指定する」「将来人口メッシュの条件を指定する」の詳細を設定していきます。（次項に続く）

The screenshot displays the RESAS web application interface. The left sidebar contains a navigation menu with categories like 'Marketing Map', 'Tourism Map', 'Population Map', 'Industry Structure Map', 'Regional Economic Cycle Map', 'Agriculture/Fishing Map', and 'Medical/Care Map'. The 'Population Map' section is expanded, showing the 'Future Population Mesh Analysis' settings. A red box highlights the 'Specify the area to be displayed' and 'Specify the conditions for the future population mesh' sections. The 'Specify the area to be displayed' section includes dropdown menus for '東京都' (Tokyo) and '千代田区' (Chiyoda-ku). The 'Specify the conditions for the future population mesh' section includes options for '表示内容を指定する' (Specify display content) with radio buttons for '総数' (Total) and '増減数' (Change), '表示年を指定する' (Specify display year) with a dropdown for '2070年(推計値)', '性別' (Gender) with checkboxes for 'すべての性別' (All), '男性' (Male), and '女性' (Female), '年代' (Age) with checkboxes for 'すべての年代' (All) and a dropdown for '年代の内訳を指定する', and checkboxes for 'メッシュ表示' (Mesh display) and '任意の地域を選択する' (Select arbitrary area). Below this is the 'Specify the conditions for the business' section with a '分類一覧' (Classification list) button and a dropdown for '表示する分類を指定する'. At the bottom of the sidebar is a '不動産情報 ライブラリ' (Real Estate Information Library) section with a 'キャプチャ' (Capture) button and a note about data sources and copyright. The main map area shows a detailed view of Tokyo, with various districts and landmarks labeled. The map is overlaid with a grid representing the population mesh analysis. The bottom right corner of the map includes a scale bar (1 km) and the Leaflet logo.

2. 需給ギャップマップの作成方法

Step.2 「将来人口メッシュ分析」の詳細を設定する 続き

表示したい市区町村を選択します。

- 「表示する地域を指定する」から、表示したい都道府県、市区町村をそれぞれプルダウンから選択します。
- プルダウンは、右側の「v」を押下することで表示されます。

表示する地域を指定する

長野県 v

長野市 v

筑北村

千曲市

茅野市

天龍村

東御市

豊丘村

中川村

中野市

長野市

「将来人口メッシュの条件を指定する」を設定します。

- 「将来人口メッシュの条件を指定する」を下記のとおり設定します。

将来人口メッシュの条件を指定する

表示内容を指定する

総数

増減数

表示年を指定する

2025年 (推計値) v

性別

すべての性別

男性 女性

年代

すべての年代

年代の内訳を指定する v

メッシュ表示

ほどよい色 (透過率40%) v

任意の地域を選択する

【表示内容を指定する】
「総数」を選択

【表示年を指定する】
「2025年 (推計値)」を選択

【性別】
「すべての性別」を選択

【年代】
「すべての年代」を選択

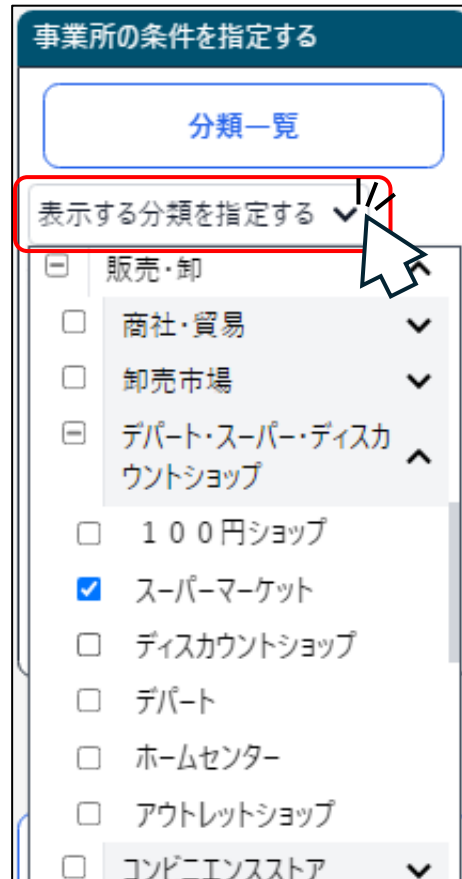
【メッシュ表示】
有効にする。

2. 需給ギャップマップの作成方法

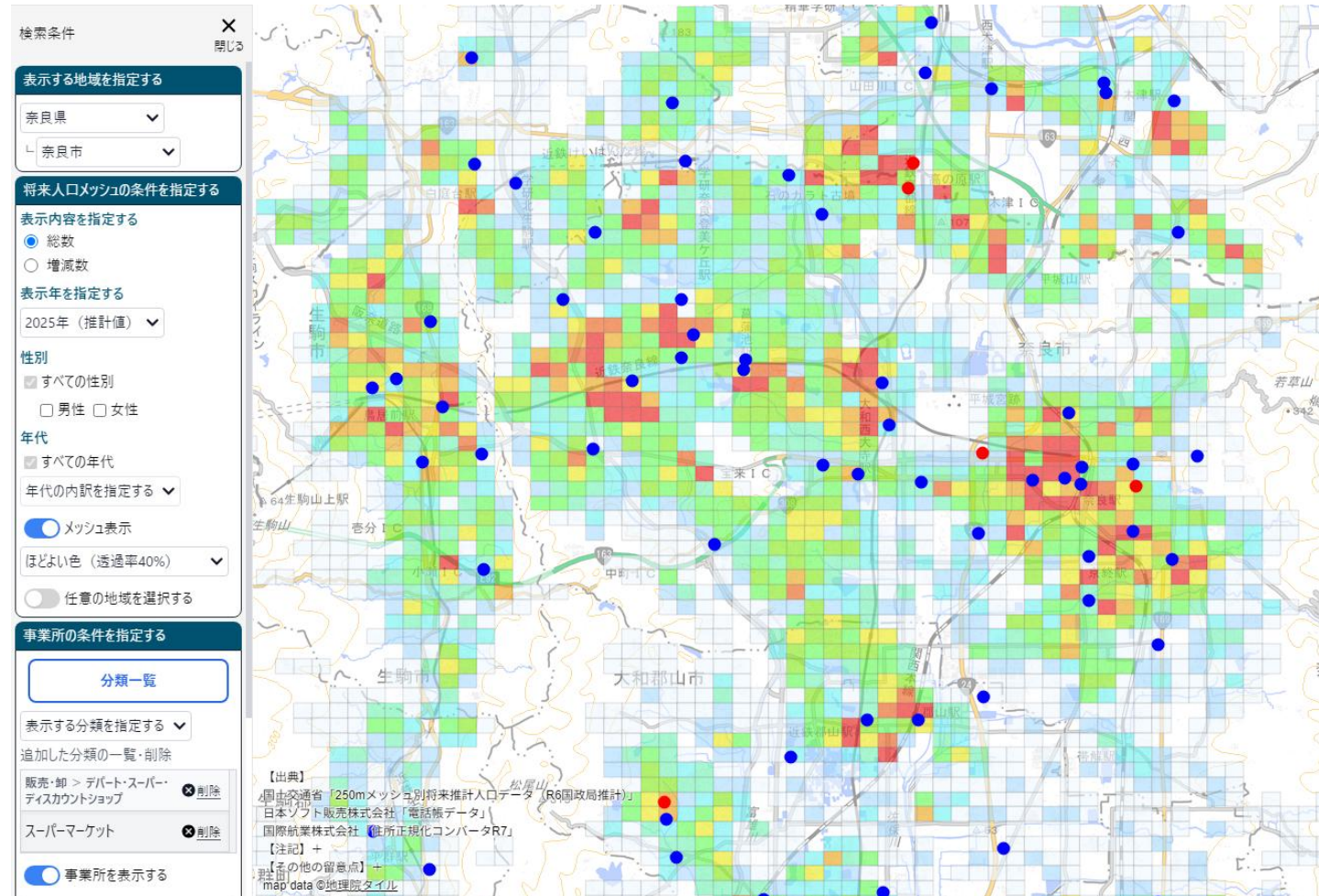
Step.3 業種を選択する

「事業所の条件を指定する」を設定します。

- 「表示する分類を指定する」のプルダウンを開き、補助事業で行うエッセンシャルサービスの業種分類を選択します。
- 選択する業種分類は、次項の業種対応目安表を参考に、補助事業の内容に合わせて決定してください。



将来人口メッシュに事業所の立地を重ねた地図が表示されます。



2. 需給ギャップマップの作成方法 Step.3 業種を選択する

(参考) 業種対応目安表

※ここにはない業種についてはP17以降に記載

| 補助事業の業種 | RESASで選択可能な業種分類（大分類→中分類） |
|----------------|--|
| スーパーマーケット | 「スーパーマーケット」（販売・卸→デパート・スーパー・ディスカウントショップ） |
| コンビニエンスストア | 「コンビニエンスストア」（販売・卸→デパート・スーパー・ディスカウントショップ） |
| ドラッグストア | 「ドラッグストア・薬店」（メディカル&ヘルスケア（医療・薬・保健衛生）→薬局・薬店） |
| ガソリンスタンド | 「ガソリンスタンド」（ドライブ（自動車・オートバイ・自転車・ドライブ）→ガソリンスタンド・休憩場） |
| 運送業 | 「運送」「宅急便」（トランスポーター（交通・運輸・倉庫）→陸運） |
| タクシー | 「タクシー」「介護・福祉タクシー」（トランスポーター（交通・運輸・倉庫）→タクシー） |
| 自動車整備 | 「自動車整備」（ドライブ（自動車・オートバイ・自転車・ドライブ）→自動車修理・整備・洗車） |
| 医療 | 「病院・医院・クリニック」の全てまたは一部（メディカル&ヘルスケア（医療・薬・保健衛生）） |
| 介護 | 「グループホーム」「介護老人保健施設」「老人福祉施設」「デイケア」「デイサービス」「ショートステイ」「老人ホーム」「特別養護老人ホーム」「有料老人ホーム」（パブリック（官公庁・団体・福祉）→福祉施設） |
| 保育所、幼稚園、認定こども園 | 「保育園」「幼稚園」「認定こども園」（スクール&カルチャー（学校・趣味教室・図書館）→幼稚園・保育園） |
| 公衆浴場 | 「銭湯」「スーパー銭湯」（その他サービス→浴場・サウナ・風俗） |
| 理美容 | 「美容院」「理容店」（その他サービス→理容・美容） |
| 洗濯 | 「クリーニング」「コインランドリー」（その他サービス→クリーニング） |

※将来人口メッシュ分析における事業所の業種は、民間データ（電話帳データ）に基づく分類である。

※表中右列に複数の分類が並ぶ業種は、同じエッセンスサービスを提供していると考えられるものを全て選択すること。

※その他生活必需品小売業は、業種分類で最も近いものを選択すること。

2. 需給ギャップマップの作成方法

Step.4 アクセス可能地区を描画する

「任意の地域を選択する」を有効にします。

- 「将来人口メッシュの条件を指定する」最下部の「任意の地域を選択する」を有効にします。

将来人口メッシュの条件を指定する

表示内容を指定する

総数
 増減数

表示年を指定する

2025年（推計値）

性別

すべての性別
 男性 女性

年代

すべての年代

年代の内訳を指定する

メッシュ表示

ほどよい色（透過率40%）

任意の地域を選択する

描画方法【円】を選択します。

- 「検索条件」の右側に五角形、四角形、円のマークが表示されるので、円を選択してください。



2. 需給ギャップマップの作成方法

Step.4 アクセス可能地区を描画する 続き

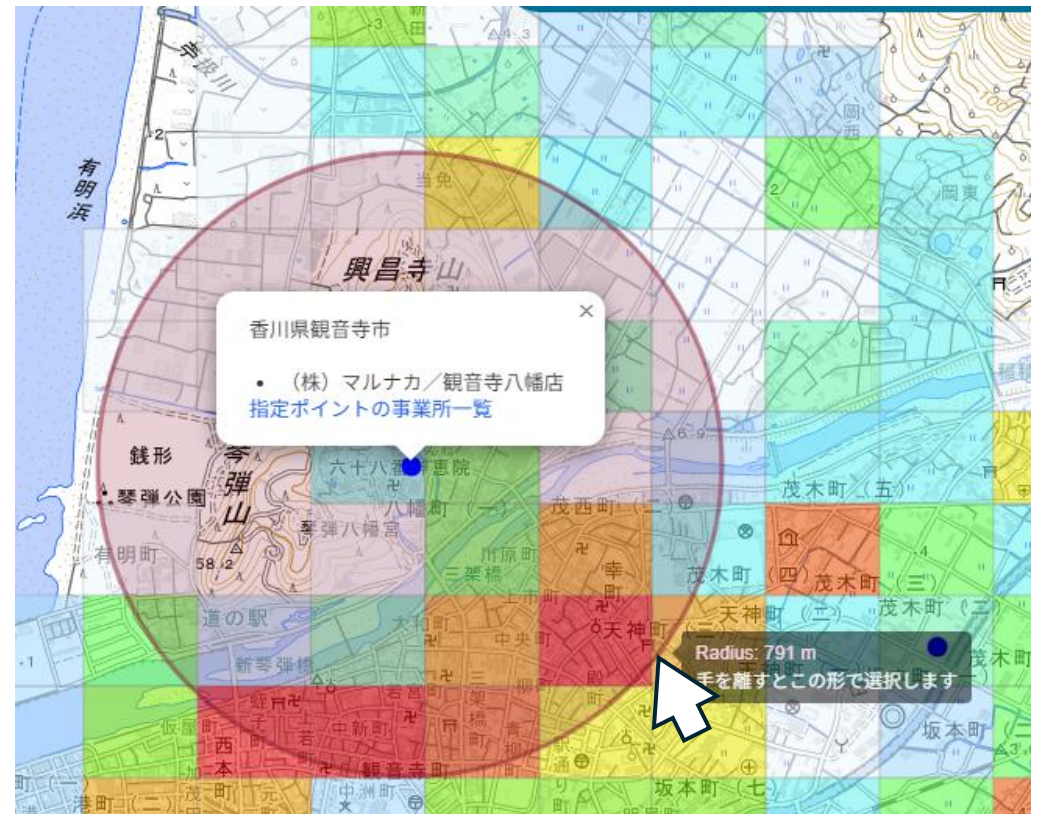
申請者の拠点にカーソルを合わせます。

- 申請者がエッセンシャルサービス供給を行う拠点が青点で示されている場合、そこにカーソルを合わせます（カーソルを合わせると、事業所の詳細情報が吹き出しで表示されます）。
- 青点で示されていない場合は、背景の地図情報から、正しい場所を特定してください。
- なお、エッセンシャルサービス供給を行う拠点は、事業所や営業所に限りません。例えば移動販売を行うのであれば、移動販売で実際に販売を行うポイントを指定してください）。



拠点を中心とした円を描きます。

- カーソルを合わせた場所で左クリックし、クリックしたままスライドすると、申請者の拠点を中心とした円が描画されます。
- 「Radius: 791m」のように半径が表示されるので、半径が業種ごとに定める数値（次項）になるように調整してください。
- クリックをやめると円の大きさが確定します。



2. 需給ギャップマップの作成方法 Step.4 アクセス可能地区を描画する

(参考) 業種ごとに定めるアクセス可能地区の半径

| 補助事業の業種 | アクセス可能地区の半径 | |
|----------------|-------------|-----|
| スーパーマーケット | 800m | |
| コンビニエンスストア | | |
| ドラッグストア | | |
| その他生活必需品小売業 | | |
| 自動車整備 | | |
| 保育所、幼稚園、認定こども園 | | |
| 医療 | | |
| 介護 | | |
| 公衆浴場 | | |
| 理美容 | | |
| 洗濯 | | |
| ガソリンスタンド | | 2km |
| LPガス小売業 | | |
| タクシー | | |
| 火葬場 | | |

※ここにはない業種は後述。

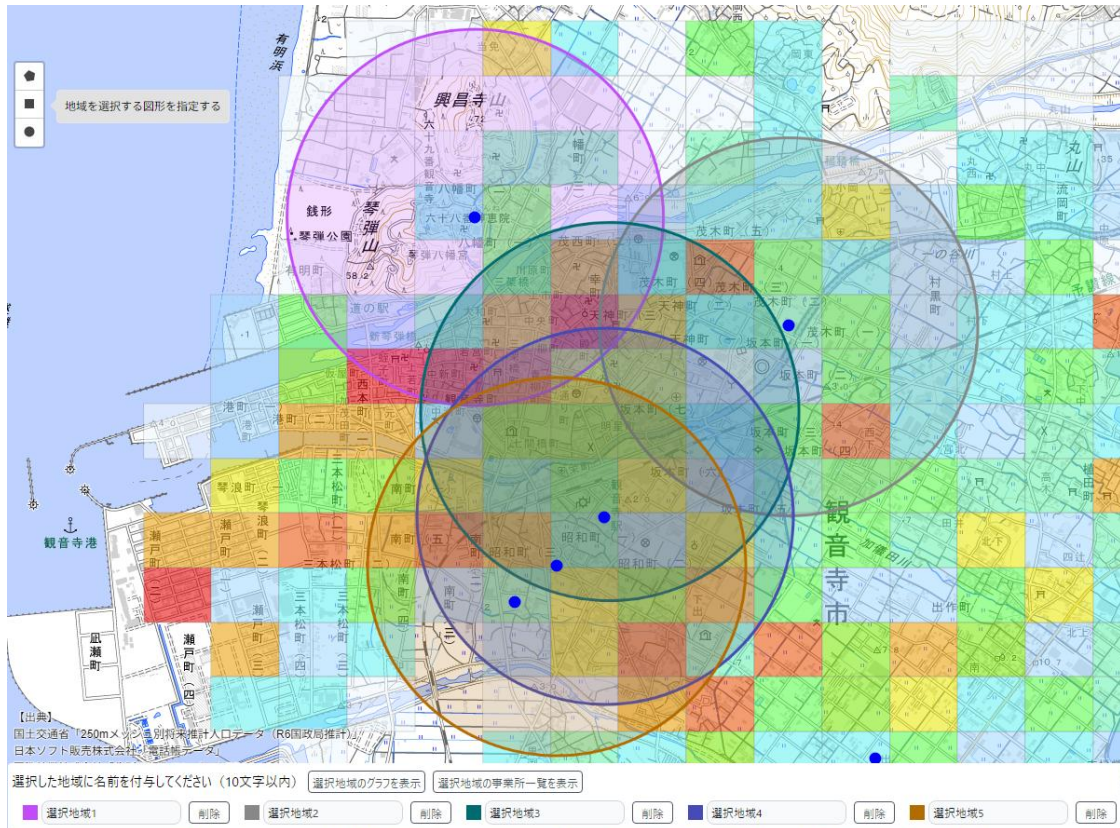
※システム上、数字がぴったりと合わない場合は、+5mまで（800mなら800m～805m）誤差を認めます。

2. 需給ギャップマップの作成方法

Step.5 エssenシャルサービス供給地区を描画する

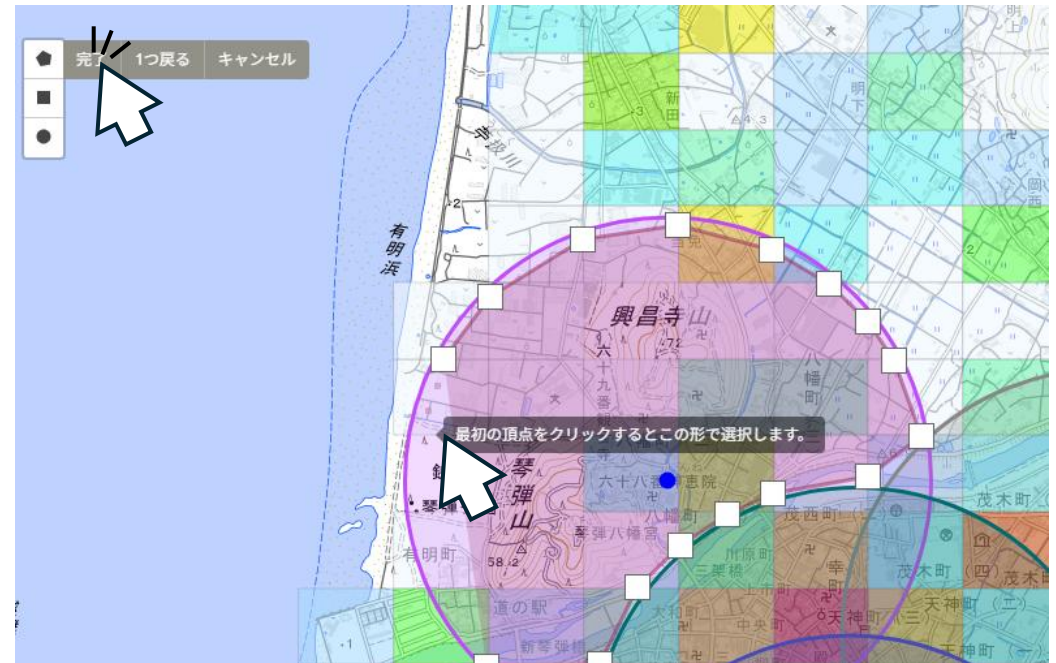
競合拠点のアクセス可能地区も描画する。

- 申請者と類似のエssenシャルサービスを供給する近隣の拠点（競合他拠点）についても同じ大きさの円でアクセス可能地区を描画します（最寄りの事業者から最大4拠点分を描画してください）。
- RESASで表示されない事業者についてもオンライン地図サービス等を活用して拠点を特定し、アクセス可能地区を描画してください。



エssenシャルサービス供給地区を描画する。

- 「検索条件」の右側に表示されている図形のうち、五角形のアイコンを選択し、申請者のアクセス可能地区のうち、競合他拠点のアクセス可能地区に含まれない地区になるべく多く含まれるように多角形を描画してください。
 - 多角形は、上記の地区の外にはみ出ないように注意してください。
- ※ 申請者のアクセス可能地区に競合他拠点のアクセス可能地区が一切被らない場合、エssenシャルサービス供給地区がアクセス可能地区と一致するため、改めて多角形を作図していただく必要はございません。



2. 需給ギャップマップの作成方法

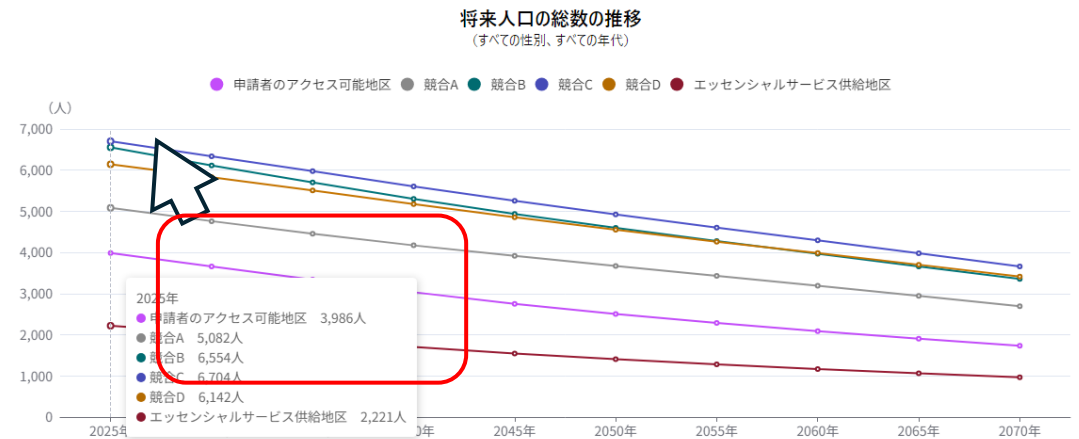
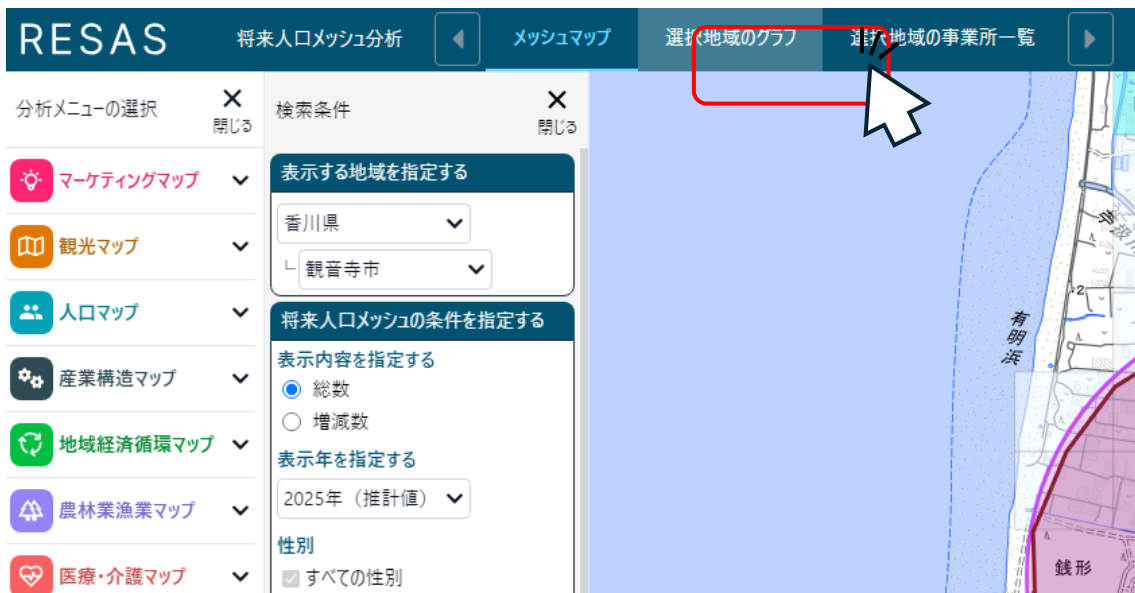
Step.5 エssenシャルサービス供給地区を描画する

選択地域のグラフを表示する。

- 画面最上部の「選択地域のグラフ」と表示された部分を押し下して、選択地域のグラフを表示する。
- この際、必要に応じて、画面最下部の「選択した地域に名前を付与してください（10文字以内）」の表示箇所て図形に分かりやすい名称を付けると確認しやすくなります。

エssenシャルサービス供給地区の人口を確認する。

- 「将来人口の総数の推移」というグラフが表示されるので、2025年にカーソルを合わせ、エssenシャルサービス供給地区の人口を確認します。
- 確認した人口は、申請書上「供給地区の人口」に記入する際に利用します。



【出典】

国土交通省「250mメッシュ別将来推計人口データ（R6国政局推計）」

【注記】

250mメッシュの将来人口は、2020年の国勢調査等に基づき試算。個人情報保護の観点から、各メッシュ内の人口が少数である場合、推計値について秘匿処理を実施している。

また、増減数の計算では、こうした秘匿処理による欠損値も考慮しているため、

「将来人口の総数の推移」グラフにおける2025年と他の年の差分と、「将来人口の増減数の推移」グラフの値が一致しない場合がある。

推計方法および秘匿処理の詳細はこちら。

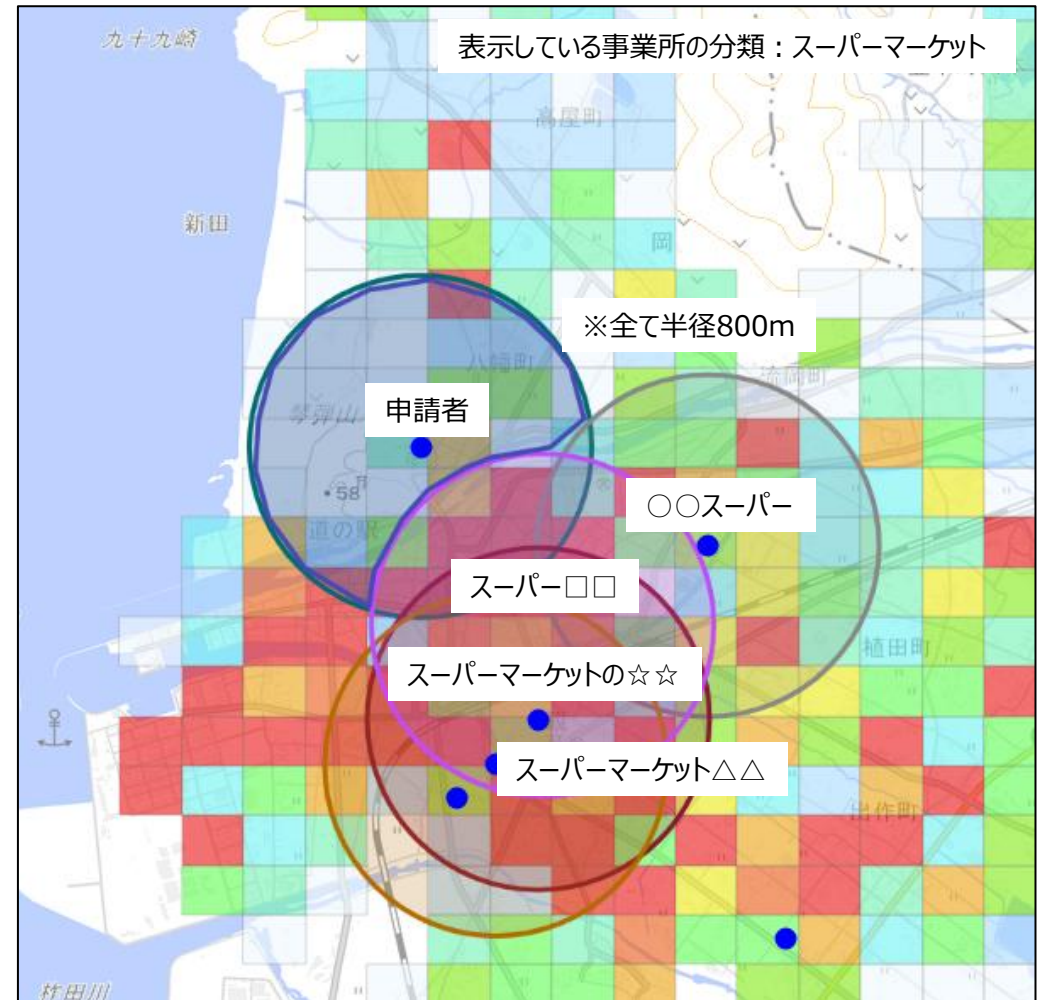
https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/content/r6_about_future_population.pdf

3. 需給ギャップマップの添付方法

- 申請書には、先ほど作成した需給ギャップマップを画像データで添付してください。
- その際、地図上に以下の情報を盛り込んでください（申請書上でテキストボックスを作成し、追加していただくことで問題ございません。）
 - 申請者の拠点と、競合他拠点の名称
 - 円の半径
 - 青点で表示している事業所の分類
- また、申請書上の「供給地区の人口」に、エッセンシャルサービス供給地区（最後に作成した多角形）の2025年（推計値）の人口を記入してください。

需給ギャップマップ完成イメージ（例）

※スーパーマーケットの場合



4. 「2. 需給ギャップマップの作成方法」では資料の作成が困難な業種について

- ①卸売業、運送業（宅配以外）
- ②運送業（宅配）
- ③路線バス
- ④デマンド交通
- ⑤LPガス小売業
- ⑥火葬場
- ⑦草刈り・除雪等の生活関連サービス

4. 「2. 需給ギャップマップの作成方法」では資料の作成が困難な業種について

①卸売業、運送業（宅配以外）

※本業種では、RESASで作成した需給ギャップマップは審査に必要な需給ギャップ要件とは連動しません。審査の際の参考として作成いただければ幸いです。

- 「2.需給ギャップマップの作成方法」 Step1,2に従い「将来人口メッシュ分析」の詳細を設定します。
- 卸売業や小売店向け等の運送業をエッセンシャルサービスとして申請を行う場合は、補助事業で荷物を届ける先の小売店のうち、6つまで選んで小売店へのアクセス可能地区（半径800mの同心円）を作成し（※2需給ギャップマップの作成方法Step3, 4に従う）、全ての店舗が見えるようにスクリーン画像を取得（複数画像可）し、申請書に添付してください。
- 申請書上では、補助事業で届ける先の小売店について全て店舗の名前を表示してください。
- 申請書上の「供給地区の人口」には、RESASで示した6つのアクセス可能地区の人口の合計値を記載してください。

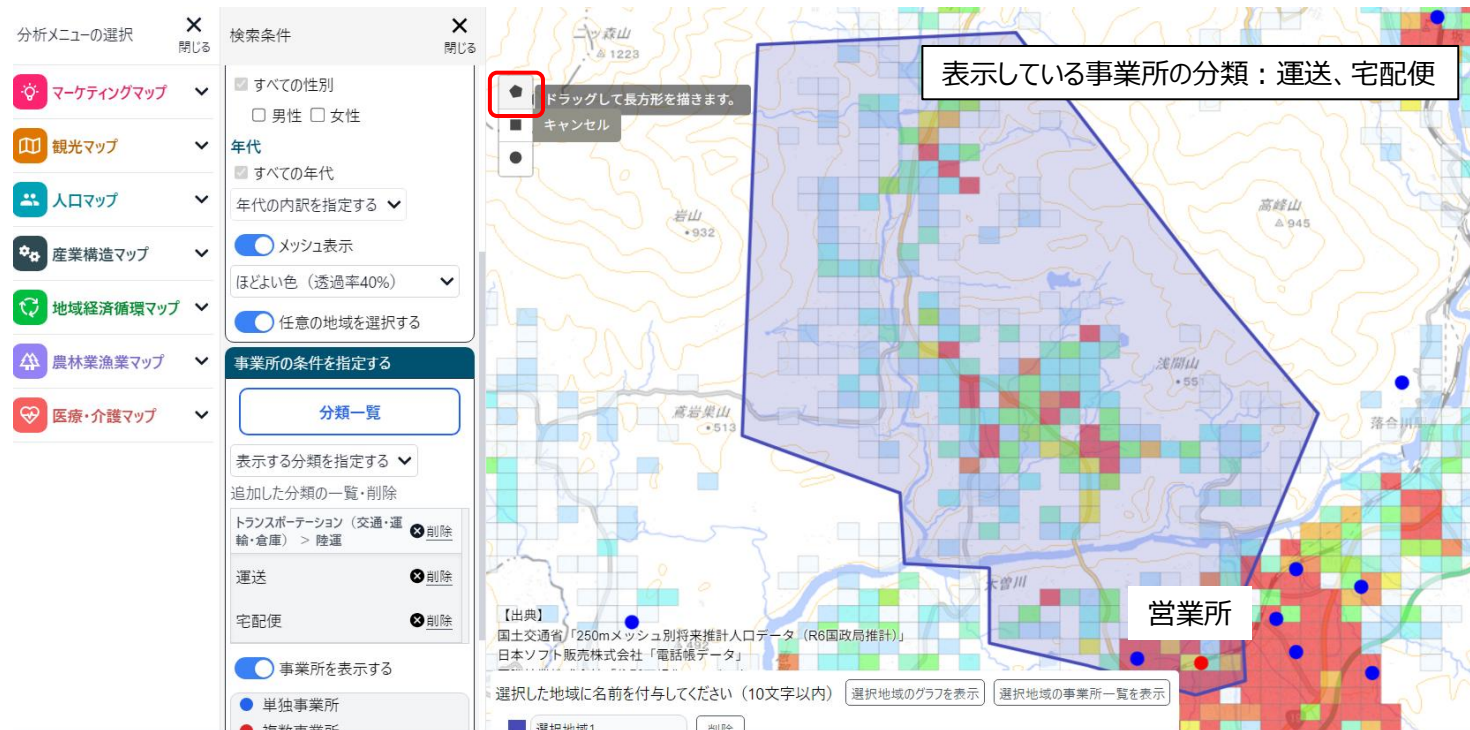
The screenshot displays the RESAS application interface. On the left, there is a sidebar with various map categories: マーケティングマップ, 観光マップ, 人口マップ, 産業構造マップ, 地域経済循環マップ, 農林業漁業マップ, and 医療・介護マップ. The main area is divided into search filters and a map. The search filters include '年代' (Age) with options for 'すべての年代' and '年代の内訳を指定する', 'メッシュ表示' (Mesh display) which is checked, 'ほどよい色 (透過率40%)' (Appropriate color (40% transparency)), and '任意の地域を選択する' (Select any area). Below these are '事業所の条件を指定する' (Specify business conditions) with a '分類一覧' (Classification list) button. The classification list shows '表示する分類を指定する' (Specify classification to display) and a list of categories with checkboxes: '販売・卸 > デパート・スーパー・ディスカウントショップ' (checked), 'スーパーマーケット' (checked), 'ディスカウントショップ' (checked), '販売・卸 > コンビニエンスストア' (checked), and 'コンビニエンスストア' (checked). At the bottom of the filters, there are '事業所を表示する' (Display business locations) and '単独事業所' (Individual business locations) options. The map on the right shows a geographical area with several circular regions of radius 800m centered on specific points. These regions are labeled with business types and symbols: 'スーパー' (Supermarket), 'コンビニ' (Convenience store), and 'ディスカウント' (Discount store). A legend at the bottom of the map shows '選択地域1' through '選択地域4' with corresponding colored squares. A text box at the top of the map area reads '表示している事業所の分類：スーパーマーケット、ディスカウントショップ、コンビニエンスストア' (Classification of displayed business locations: Supermarket, Discount shop, Convenience store). A note on the map says '※全て半径800m' (※All radius 800m).

4. 「2. 需給ギャップマップの作成方法」では資料の作成が困難な業種について

② 運送業（宅配）

※本業種では、RESASで作成した需給ギャップマップは審査に必要な需給ギャップ要件とは連動しません。審査の際の参考として作成いただければ幸いです。

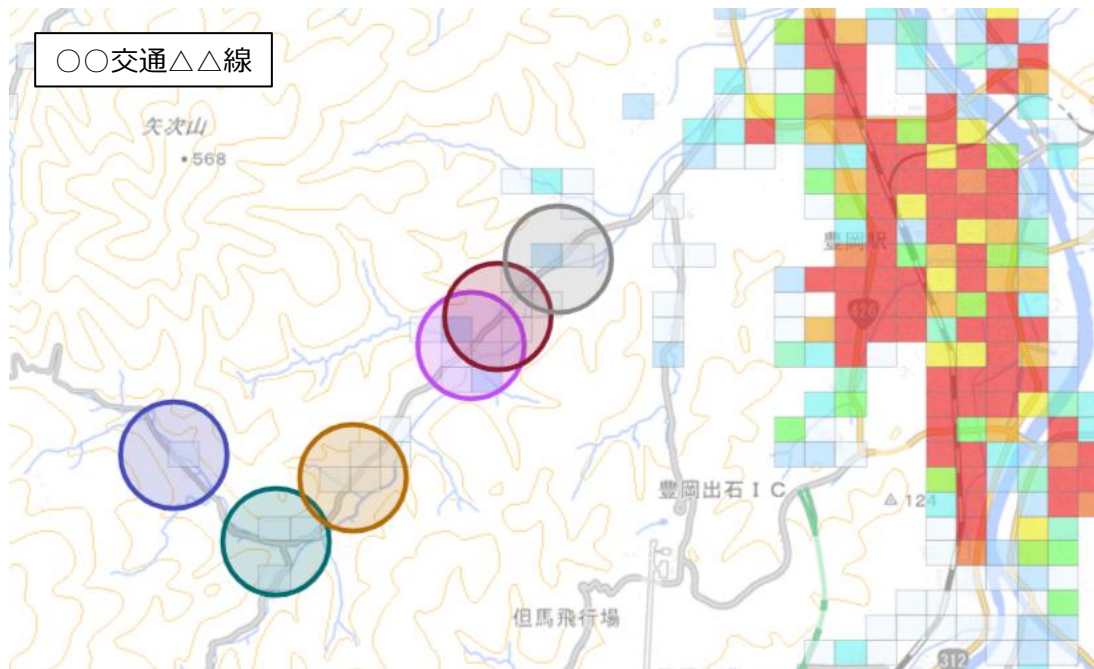
- 「2.需給ギャップマップの作成方法」 Step1,2に従い「将来人口メッシュ分析」の詳細を設定します。
- その後、宅配事業、配食サービス等個人向けの運送事業の場合、補助事業によってエッセンシャルサービスを提供する地区をRESASに自由描画してください。（※検索条件の右側で五角形の表示を選択すると描きやすくなります。）
- 申請の際、営業所や物流拠点の場所は可能な範囲で記載するようにしてください。
- 申請書上の「供給地区の人口」には、選択した地区の人口を記載してください。



4. 「2. 需給ギャップマップの作成方法」では資料の作成が困難な業種について

③ 路線バス

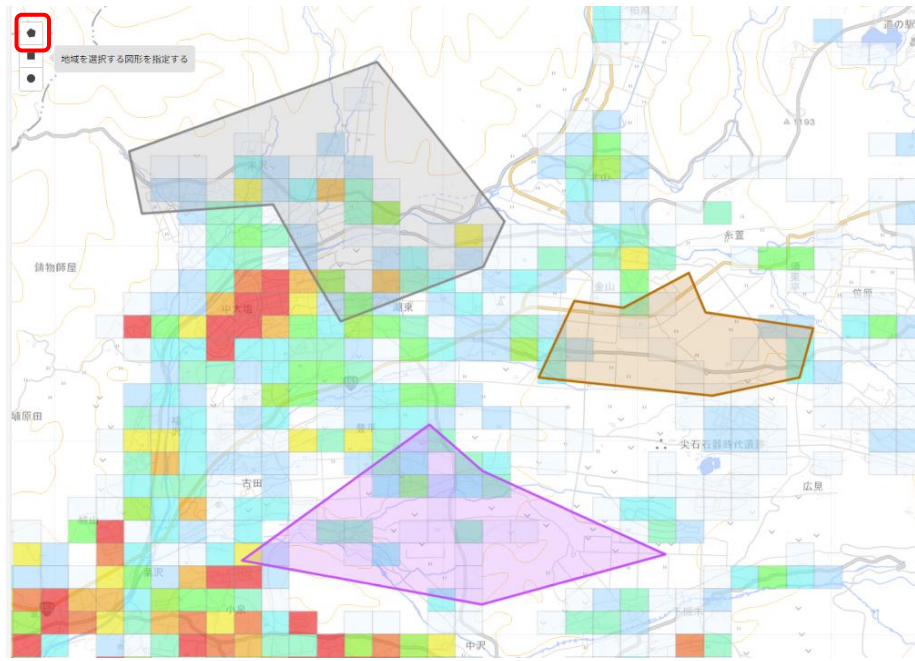
- 「2. 需給ギャップマップの作成方法」 Step1,2に従い「将来人口メッシュ分析」の詳細を設定します。
- バス路線の要するバス停のうち、他のバス路線が乗り入れておらず、また、他のバス路線のバス停から半径500m以内もしくは旅客鉄道駅から1000m以内の地区に含まれないものについて、6カ所まで選択してバス停を中心とした半径500mの円を描いてください。
- 申請書類には、選択したバス停周辺のバスサービス供給が分かる路線図等の資料（出典併記）を同様に画像データで並べて添付してください。
- 申請書上の「供給地区の人口」には、選択した同心円の人口の合計値を記載してください。



(出典) 全但バス株式会社「一般路線バス (運行経路・時刻表・運賃表)」より。

④ デマンド交通

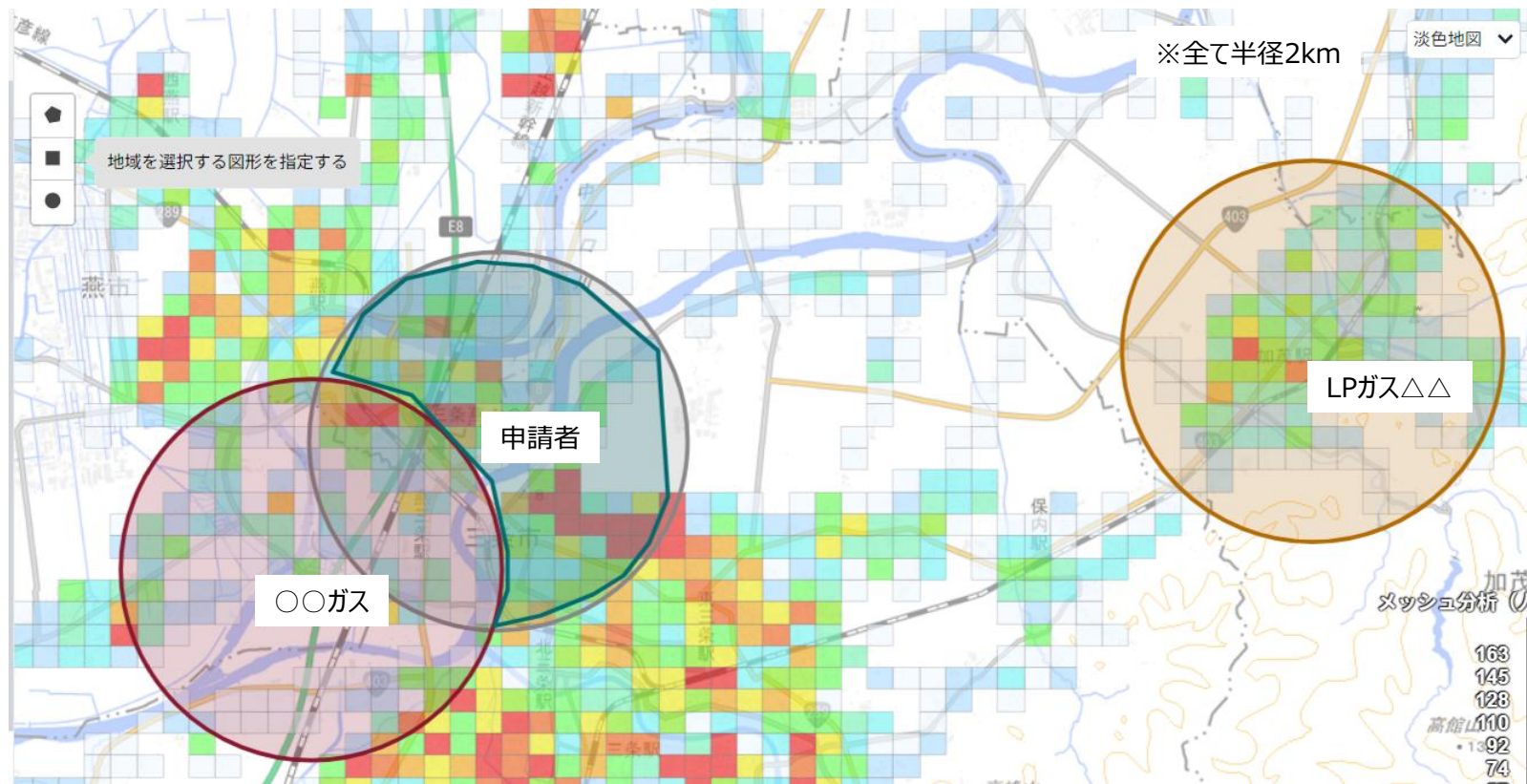
- 「2.需給ギャップマップの作成方法」Step1,2に従い「将来人口メッシュ分析」の詳細を設定します。
- デマンド交通の場合、補助事業によってエッセンシャルサービスを提供する地区をRESASに自由描画してください。（※画面左上で五角形の表示を選択すると描きやすくなります。）エッセンシャルサービスを提供する地区には、旅客鉄道駅から1000m、他の路線バスのバス停から500m以内の地区は含まないようにしてください。
- 申請書類には、選択した地域の近隣のバスサービス供給が分かる路線図等の資料（出典併記）を同様に画像データで並べて添付してください。
- 申請書上の「供給地区の人口」には、選択した地区の人口を記載してください。（※複数の地区がある場合は人口の合計値を記載）



(出典) 茅野市「茅野市バス路線図 (2025年 (令和7年) 4月現在)」より。

⑤ LPガス小売業

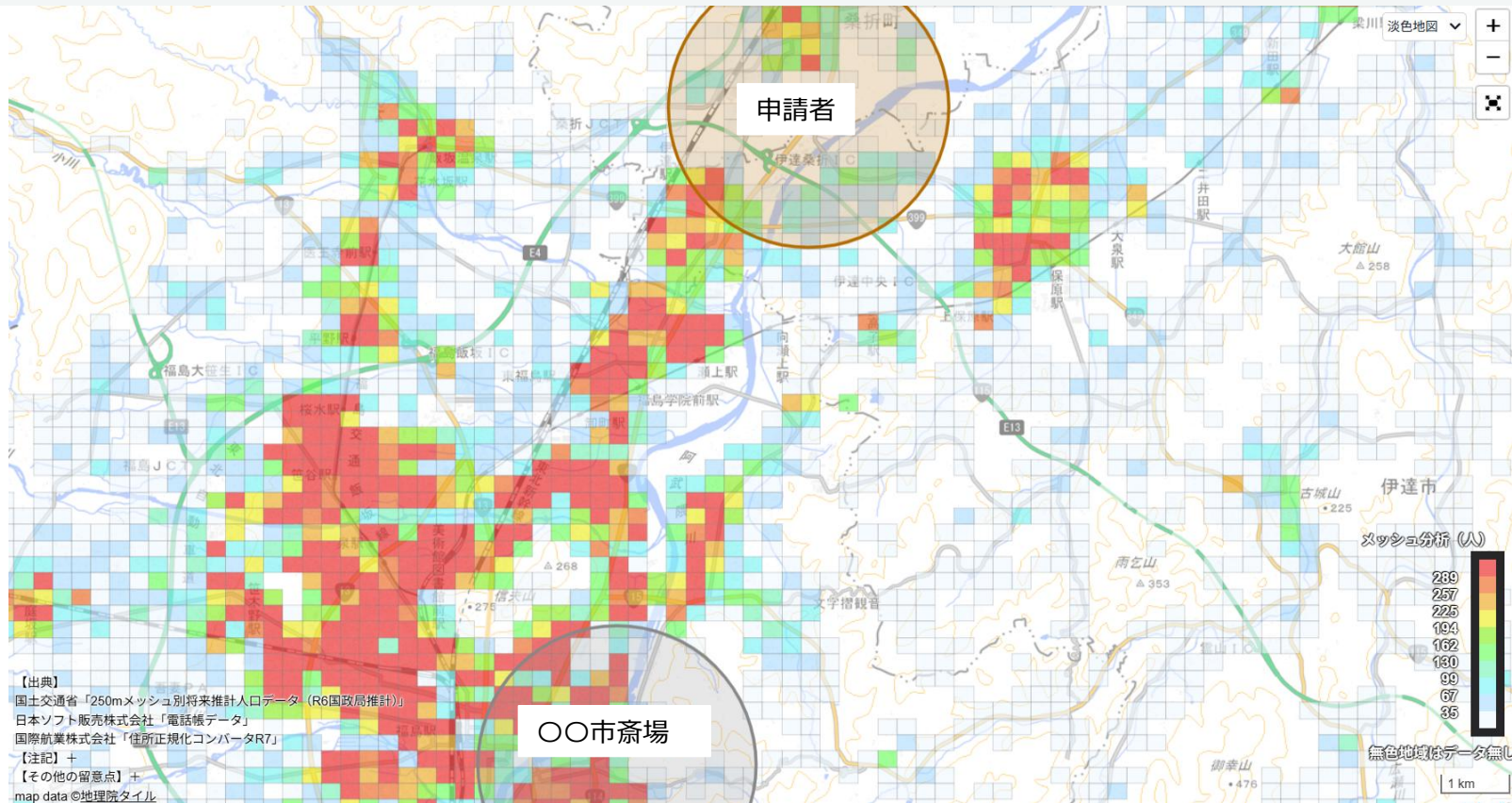
- 「2.需給ギャップマップの作成方法」Step1,2に従い「将来人口メッシュ分析」の詳細を設定します。
- LPガス小売の場合、自らオンライン地図サービス等を活用して近隣のLPガス供給事業者を確認し、Step4のとおり申請者の拠点及び競合他拠点から半径2kmの同心円を作成してください。
- Step5以降は「2. 需給ギャップマップの作り方」の案内に従ってください。



4. 「2. 需給ギャップマップの作成方法」では資料の作成が困難な業種について

⑥火葬場

- 「2.需給ギャップマップの作成方法」Step1,2に従い「将来人口メッシュ分析」の詳細を設定します。
- 火葬場の場合、自ら検索媒体等を活用して近隣の火葬事業者を確認し、Step4のとおり申請者の拠点及び競合他拠点から半径2kmの同心円を作成してください。
- Step5以降は「2. 需給ギャップマップの作り方」の案内に従ってください。

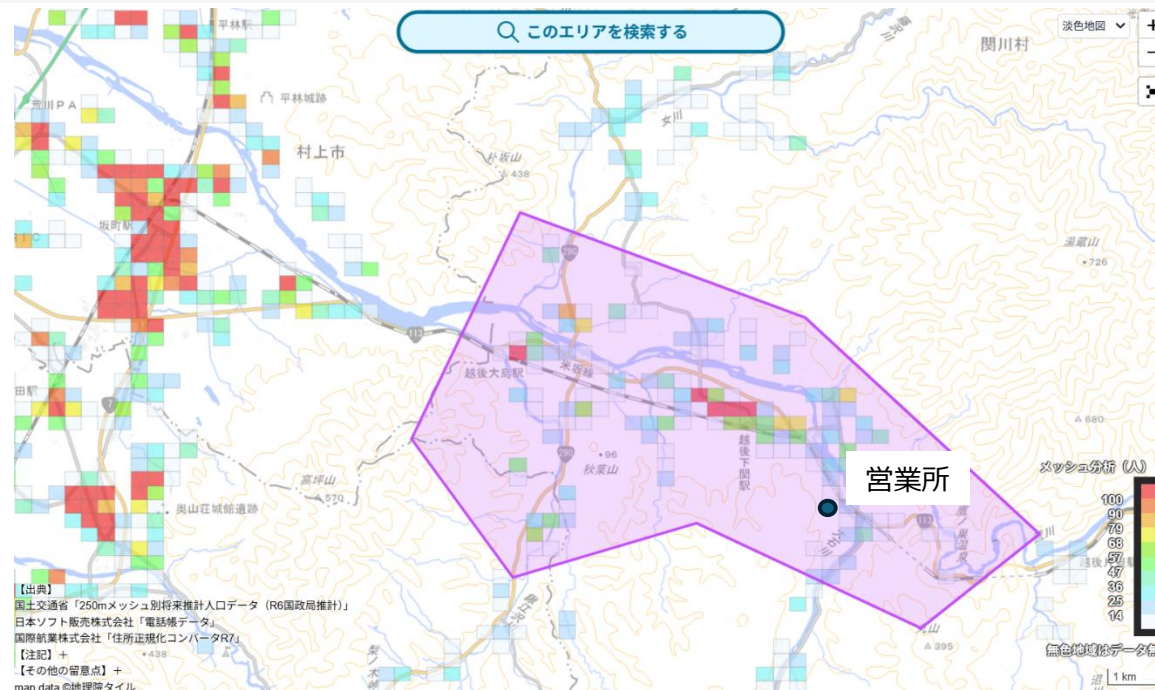


4. 「2. 需給ギャップマップの作成方法」では資料の作成が困難な業種について

⑦草刈り・除雪等の生活関連サービス

※本業種では、RESASで作成した需給ギャップマップは審査に必要な需給ギャップ要件とは連動しません。審査の際の参考として作成いただければ幸いです。

- 「2.需給ギャップマップの作成方法」Step1,2に従い「将来人口メッシュ分析」の詳細を設定します。
- 草刈り・除雪等の生活関連事業の場合、補助事業によってエッセンシャルサービスを提供する地区をRESASに自由描画してください。
(※検索条件の右側で五角形の表示を選択すると描きやすくなります。)
- 申請時において、営業所や物流拠点の場所は可能な範囲で記載するようにしてください。(※必要に応じて図形描画等で営業所を示してください。)
- 申請書上の「供給地区の人口」には、選択した地区の人口を記載してください。(※複数の地区がある場合は人口の合計値を記載)



5. お問い合わせ先

生活維持役務等効率化促進事業事務局

電話番号：03-5539-6703

メールアドレス：es-jissho@bsec.jp

営業時間：平日10時～17時（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

事務局ホームページ：<https://es-jissho.go.jp>